



◎幹事會

昭和十二年十月十三日正午より内務省第二會議室に於て幹事會を開催、阿部主任幹事、武若、細田、近藤、谷口、藤井、金子、和田、小島の各幹事出席、宮崎縣知事より推薦ありたる優秀道路工夫表彰の件に付き慎重審査を遂げた。右の結果、本會は最近制定した道路功績者表彰規程第一條に依り左記二名を表彰し、第三條及第四條に依り夫々表彰狀(額縁付)、二等功績章並に木杯一個を贈與することに決定した。

宮崎縣小林土木出張所

道路工夫 今村 藤吉

明治十三年三月十日生

宮崎縣飯肥土木出張所

道路工夫 杉戸 清吉

明治廿五年三月三日生

◎道路標識調査會

本會調査部事業として調査研究することとなつた道路標識改正に關する調査會は其の第一回會合を昭和十二年十月十六日午前九時より學士會館に於て開催、内務省警保局警務課館林事務官、小野寺内務技師、三橋内務省囑託、同計畫局都市計畫課江口事務官、磯谷内務技師、内務省土木試驗所長代理佐藤(寛)内務技師、小澤内務技師、豊原警視廳保安部交通課長、玉村警部、白井技手、東京府土木部道路課長代理松田技師、堀東京市土木局道路管理課長、山本東京市土木試驗所長、関西道路研究會員代表京都帝大工學部近藤教授、前田日産自動車株式會社研究部長、田中大阪府土木

部技師、別所大阪市土木部技師、松木大阪市土木部技師、木村株式會社範多商店員、本會調査部員大石内務技師、鈴木内務技師、菊池内務技師、樋浦内務技師、本會幹事阿部内務省土木局道路課長、細田事務官、谷口事務官、第二技術課金子内務技師、和田内務技師出席し、関西道路研究會の道路標識調査委員長前田氏より同會の道路標識調査報告書の説明あり質問應答を重ね、午後二時散會せり。

尙、本道路標識調査會は引續き道路標識に關する調査研究を進める豫定である。

○地方長官の交代 防空法の實施に伴ひ十月一日内務省に新設せる計畫局長に栃木縣知事松村光麿氏が轉ぜられ岡山縣知事伊藤武彦氏が宿痾の爲休職となられたので各其の後任として松村氏の後任には愛知縣總務部長足立收氏が榮轉せられた、足立氏は高知縣出身であるが現籍は東京市である大正七年東京帝國大學法科大學を卒業するや千葉縣屬となり高文にパスして福井縣地方課長、兵庫縣社會課長、商工課長を経て明治神宮造營局書記官となり昭和四年北米

に出張歸朝後宮城、神奈川、兵庫各縣の警察部長静岡縣總務部長歴任昭和十一年四月愛知縣總務部長となつて今回の榮轉を見た、氏は當年四十六歲、明朗放膽而かも沈着な性格の持主である、又伊藤氏の後任には元警保局長萱場軍藏氏が起用された、氏は宮城縣人四十五歳の働き盛で八ヶ月間の浪人生活中には嘸かし脾肉の歎があつたであらう、大正八年東京帝國大學法科卒業栃木縣屬となり、福岡、神奈川各縣事務官、復興局書記官を経て昭和五年島根縣學務部長、秋田、岡山、愛知各縣警察部長に歴任本省警保局保安課長兼高等課長となり次で、昭和九年栃木縣知事に榮進、昭和十一年潮内相の許に警保局長となり本年二月林内閣成立の際退職し今日に及ぶ、夫人に先き立たれ、四人の子女を自ら養育せらる。

○桐島像一氏永眠 本會理事桐島像一氏は久しく病床にあられたが遂に十月二十日永眠せられた。享年七十四。本會を代表して理事赤松土木局長告別式に參列した。

○原田評議員死去 土木工學界の權威元内務技監錦鶏間祇

侯正三位勳二等工學博士原田貞介氏はかねて下關市長府町古江小路の自邸で病臥中の處九月三十日享年七十三歳を以て死去せられた、本會よりは弔電を呈した。

○吉田評議員死去 東京市荒川区日暮里町八丁目一七九の吉田丹治郎氏は病氣加養中の所九月二十七日死去せられた

○野坂孝忠氏の訃 本會の講習會に二回に涉りて土性論を講演せられし東大工學部土木科助教野坂孝忠氏は風邪で世田谷區羽根木一、八四四の自宅に加療中尿毒症を併發、十月十四日夜七時半死去した、享年三十一。

◎内務省土木試験所談話會

十月中に開催したる土木試験所談話會に於ける話題は次通りである。

第一五九回技術談話會話題

時日 昭和十二年一〇月八日(第二金曜)午後二—四時

場所 本郷區駒込上富士前町二六 内務省土木試験所講堂

- 一、交通流に關する二、三の問題 (20分) 片平 信貴
- 二、瀝青混合物安定度試験の一方(30分) 西川 技師

三、本邦鋼道路橋の衝擊係數に關する一考察 (30分) 小澤 技師

四、力學に關する二、三の問題 (30分) (東大、土木科) 最上助教

第一六〇回技術談話會話題

時日 昭和十二年十月二十二日(第四金曜)午後一時—四時

場所 本郷區駒込上富士前町二六 内務省土木試験所講堂

- 一、アスファルト針度試験用の針に就て(20分) 松本 技師
- 二、江戸川河水統制水門下流洗堀に關する水理實驗報告(40分) 青木 技師 横田 周平
- 三、航空港に就て(一時間) 末森 技師
- 四、樺太視察旅行談(一時間) 木津正治氏

以上

◎近刊の圖書雜誌

○科學智識(九、十、月號)

○法律時報(九卷一〇號)

(高柳賢三氏)獨裁政と法律思想(一)、菊池勇夫氏)經

濟統制立法の發展過程)

○自 警 (十月號) (警務課教養係 清生君平の墓)

○日立評論 (二〇卷一〇號)

○電氣通信學會雜誌 (一七四號)

○セメントコンクリート道路 (四九號) (大串榮太郎氏外
一名 金澤コンクリート 試驗鋪裝報告)

○日本ポルトランドセメント業技術會報告 (二四號一册)

(微粉炭爆發防止施設調査)

○土木學會誌 (二三卷一〇號)

(風間武雄氏 木次線第四坂根隧道に於ける斷層に就て)

江藤智氏 大阪驛構内地下鐵道築造工事報告)

○鐵道軌道經營資料 (二〇卷九月)

(三輪清一郎氏 交通事業に於ける損益分界點並に沿線

人口と運輸量の計算(一))

○土 木 (三六號) (山本享氏 阿斯ファルト乳劑に就いて)

七)

○乗合自動車 (二三卷九號)

○國際觀光 (五卷四號)

○石油時報 (九月號)

○技術日本 (一七七號)

○交通研究資料 (四六輯) (東西の陸と空)

○工事畫報 (一九卷三號) (熊本縣土木課 二つの鐵筋混

凝土模様 (羽賀正義氏 國道二四號路線改良工事)

○觀光聯盟情報 (一卷九號一〇號)

○警察協會雜誌 (十月號)

(鈴木幹雄氏 防空法の施行と防空法施行令について)

○大 阪 (一三卷一一號)

○都市問題 (二五卷四號)

○セメント界彙報 (三五五號)

○港 灣 (一五卷一〇號)

○三田學會雜誌 (三一卷一〇號)

○水利と土木 (一〇卷一〇月) (水谷鏘氏 河水統制の急

務、安田正鷹氏 時局に對する認識と國民總動員の覺悟)